

農家意向調査結果

農振計画

農家の皆さんの意向を踏まえた 登米農業振興地域整備計画に

登米農業振興地域整備計画は、市として農業を総合的に振興するための指針となるもので、大変重要な計画と位置付けられています。

この計画を策定するに当たり、農家の皆さんが今後の農業経営や農地の利用計画について、どのような意向を持っているかを調査するため、昨年10月「農家意向調査」を実施しました。

その結果がまとまりましたのでお知らせします。

【調査実施主体】
産業経済部農林振興課

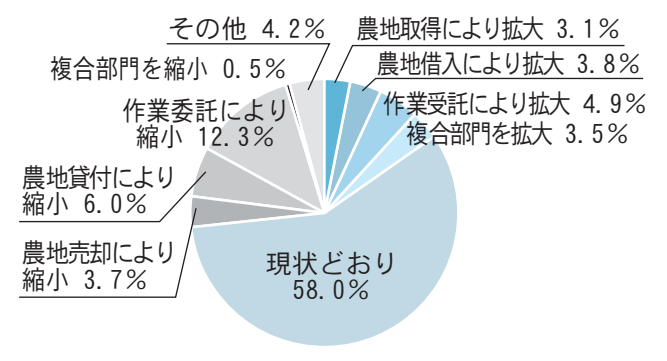
【調査期間】
平成17年9月5～10月

【調査対象者】
平成17年9月現在で登米市に在住する全農家1万4046件

【調査方法】
調査対象者への配布と回収は、行政区長に依頼

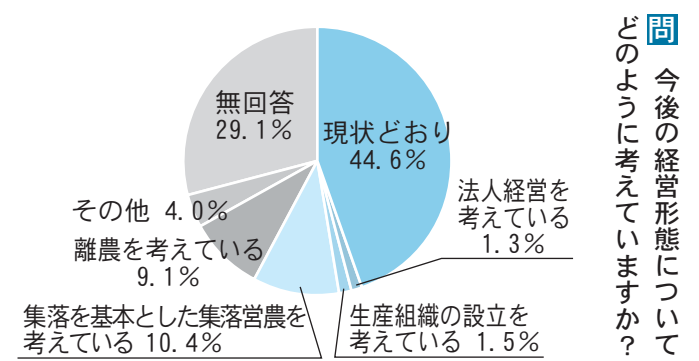
【回収戸数】
1万2571件
(回収率90%)

地区名	配布戸数	回収戸数	回収率	有効回答数
迫町	2,372	2,246	94.7%	2,219
登米町	762	694	91.1%	692
東和町	1,700	1,503	88.4%	1,459
中田町	2,867	2,408	84.0%	2,382
豊里町	1,119	1,073	95.9%	1,064
米山町	1,995	1,708	85.6%	1,700
石越町	1,005	922	91.7%	913
南方町	1,589	1,464	92.1%	1,463
津山町	637	553	86.8%	538
市全体	14,046	12,571	90.0%	12,430



問 将来（概ね10年以内）の経営規模についてどのようになっていますか？

働力に見合った生産方法を考える」が23・9%と続いており、後継者に頼る農家は9・2%と少なくなっています。



問 今後の経営形態については「現状どおり」が44・6%で最も高くなっています。

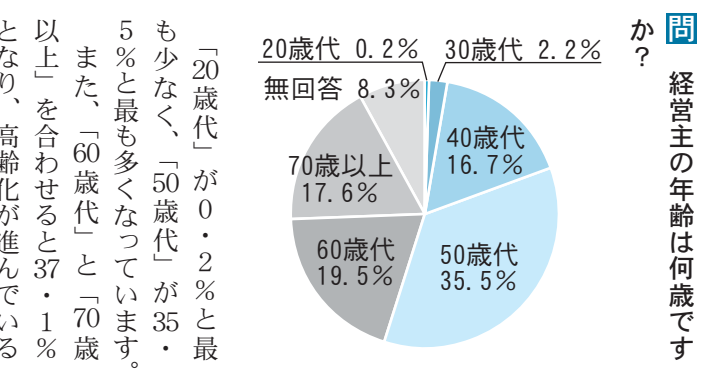
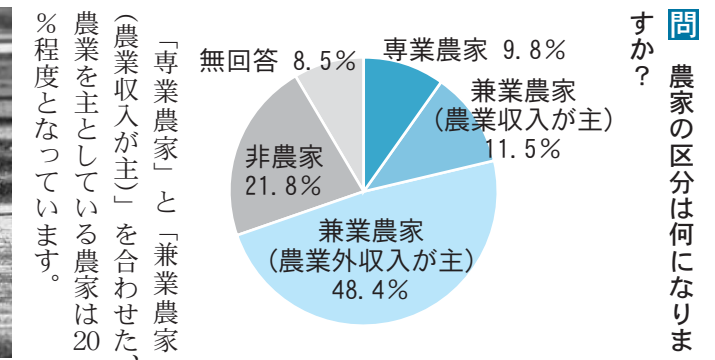
また、「無回答」が29・1%もあり、今後の農業情勢の動向を見ている人もいと考えられる。

「現状どおり」が58・0%と過半数を占めており、規模拡大意向は「農地取得」の3・1%、「農地借入」の3・8%、「作業委託」の4・9%、「複合部門」の3・5%を合わせた15・3%にとどまっています。

問 所有する農地の利用計画は？

所有する農地の利用計画については、宅地などに転用するための「除外希望」面積が最も多く、地区別では中田町で26万8406平方メートルと高い値を示しています。

農業用施設用地などへの



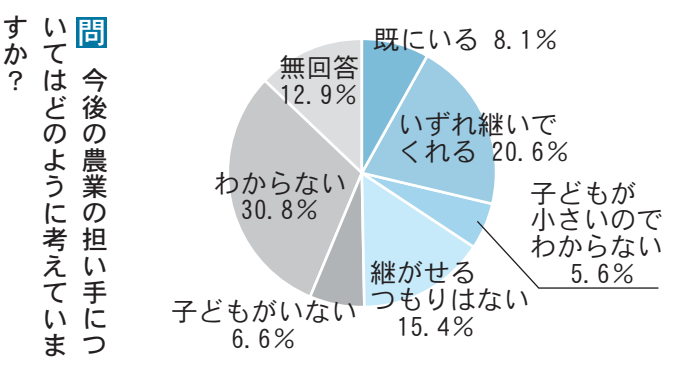
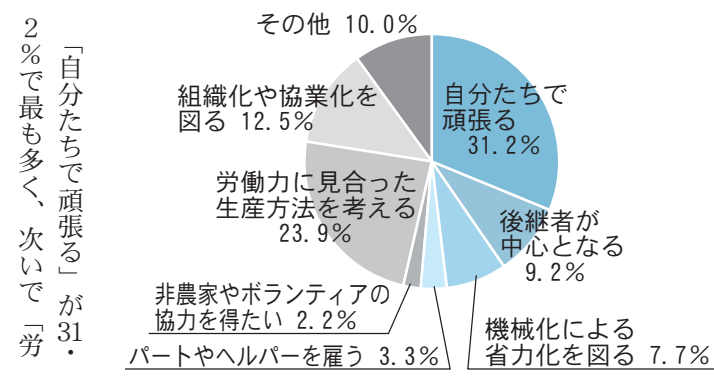
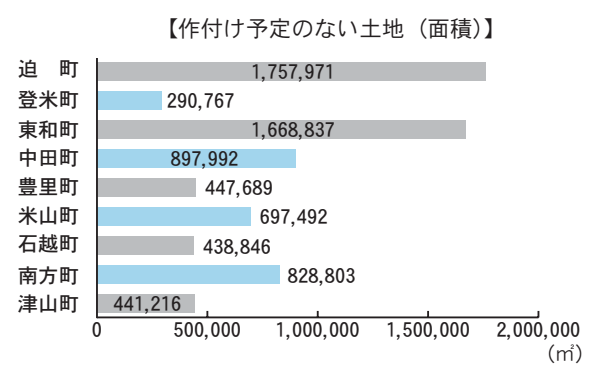
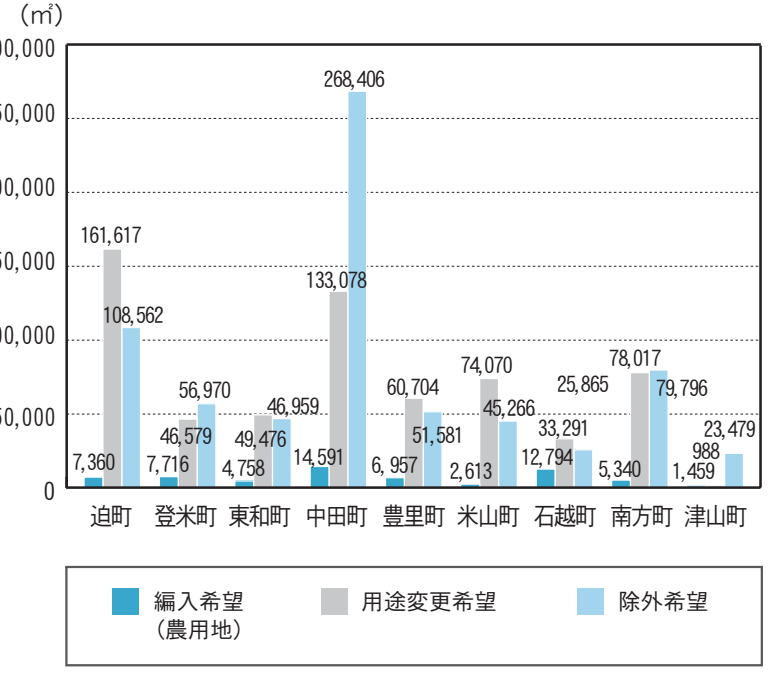
問 農家の区分は何になりますか？

「専業農家」と「兼業農家（農業収入が主）」を合わせた、農業を主としている農家は20%程度となっています。

問 経営主の年齢は何歳ですか？

「20歳代」が0・2%と最も少なく、「50歳代」が35・5%と最も多くなっています。また、「60歳代」と「70歳以上」を合わせると37・1%となり、高齢化が進んでいることが伺えます。

【所有する農地の利用計画（面積）】



問 農業後継者はいますか？

「既にいる」と「いずれ継いでくれる」を合わせても後継者がいる農家は28・7%で、後継者不足が顕著に現れています。

問 今後の農業の担い手についてはどうに考えていますか？

「自分たちで頑張る」が31・2%で最も多く、次いで「労働力に見合った生産方法を考える」が23・9%と続いています。



今回の意向調査結果から

今回の調査は登米市の全農家を対象に実施し、90%の人から回答をいただきました。

調査結果の主なものをみると、農業後継者の不足から後継者に頼らないという意識や、農業の現状を反映して規模拡大を考えている人が少ないということが伺えます。さらに、作付け予定のない土地も多く、耕作放棄地が増えていくことが心配されます。

この意向調査結果は、平成19年度末までに策定を予定している「登米農業振興地域整備計画」の方向性を導き出すために利用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ】
産業経済部農林振興課
02220(34) 2716